

# 粘着くん水和剤によるハダニ類およびアブラムシ類の防除

福島県果樹試験場 病理昆虫部  
平成13～15、17年度試験研究成績書  
分類コード 04-0103-23000000

部門名 果樹-リンゴ・ナシ-病害虫防除  
担当者 荒川昭弘・相原隆志・阿部憲義

## I 新技術の解説

### 1 要旨

- (1) 本剤の成分は天然由来のでんぷんであり、散布によりハダニ類およびアブラムシ類は、物理的作用で気門封鎖あるいは樹体への虫体の固定により致死する。
- (2) リンゴ及びナシの落花後から6月下旬までの期間に本剤を散布することで、土着天敵を保護しながらハダニ類およびアブラムシ類の防除が期待できる。特に、落花直後の散布はふ化直後のリンゴハダニへ高い防除効果がある。
- (3) 残効が無いため、他の薬剤と同等の防除効果を得るには7日間隔で2回散布する必要がある。

### 2 期待される効果

- (1) 天然由来の製剤であることから、ハダニ類およびアブラムシ類を対象とした化学農薬の削減が期待できる。また、訪花昆虫や天敵の多くが保護され、より環境に配慮した農業が推進できる。
- (2) ハダニ類およびアブラムシ類の抵抗性系統の出現の可能性は極めて低い。また、既存殺ダニ剤に対して抵抗性を示すハダニ類に対しても有効である。

### 3 適用範囲

県内のリンゴおよびナシ栽培地域

### 4 普及上の留意点

- (1) 浸透性や進達性はないので、対象害虫に薬液が十分かかるよう丁寧に散布する。
- (2) 生育期後半の散布では薬液がとおりにくいので、散布時期は、開花前から幼果期までが望ましい。
- (3) 残効は期待できないので、十分な防除効果を得るには7日間隔で2回以上の散布が必要である。
- (4) 製剤は水にすぐには溶けないので、十分に吸水後に攪拌する。また、調整する際に泡立ちが目立つので、注意する。

## II 具体的データ等

表1 リンゴのリンゴハダニに対する殺ダニ剤の防除効果（2001年）

薬剤名	希釈倍数	10葉当たり成若幼虫数					被害
		5月7日 (散布前)	5月10日 (3日後)	5月16日 (9日後)	5月25日 (18日後)	6月6日 (30日後)	
粘着くん水和剤(2回散布)	500倍	9.0	0	0	0	0.0	-
バロックフロアブル	2,000倍	16.7	19.9	5	0	0	-
無散布		9.2	8	1.7	8.7	18.7	

散布月日（1回目散布後日数）  
5月7および14日散布

表2 リンゴのナミハダニに対する殺ダニ剤の防除効果(2002年)

薬剤名	希釈倍数	10葉当たり成若幼虫数					薬害
		8月19日 (散布前)	8月20日 (6日後)	8月27日 (13日後)	9月4日 (21日後)	9月17日 (34日後)	
粘着くん水和剤(2回散布)	500倍	24.2	9.8	2.6	1.2	1	-
オサダン707777	1,000倍	15.0	0.2	0	0	0.2	-
無散布		21.0	29.6	8	4.4	1.8	

散布月日(1回目散布後日数)  
5区平均

表3 リンゴのエキヤナギアブラムシに対する殺虫剤の防除効果(2002年)

薬剤名	希釈倍数	新梢当たり個体数				薬害
		5月21日 (散布前)	5月24日 (6日後)	5月28日 (13日後)	6月4日 (21日後)	
粘着くん水和剤1回	500倍	51.8	29.3	24.2	78.6	-
粘着くん水和剤2回	500倍	54.5	22.3	23.1	10.8	-
アルバリン顆粒水和剤	6,000倍	40.6	2.4	1.4	29.5	-
コソマイト乳剤	1,000倍	91.2	0.9	9.7	99.1	-
アドマイザー水和剤	2,000倍	54.5	0.8	2.1	42.8	-
無散布		88.8	83.5	115.4	249.1	

表4 ナシのリンゴハダニに対する殺ダニ剤の防除効果(2001年)

薬剤名	希釈倍数	10葉当たり成若幼虫数					薬害
		4月24日 (散布前)	4月30日 (4日後)	5月7日 (11日後)	5月14日 (21日後)	5月27日 (32日後)	
粘着くん水和剤(2回散布)	500倍	94.2	1.1	0	4.9	6.9	-
オサダン707777	2,000倍	51.7	0.8	10.2	9.2	4.7	-
無散布		27.0	11.8	83.2	35.7	38.3	

散布月日(1回目散布後日数)  
3区平均

表5 ナシのアブラムシ類に対する各種薬剤の防除効果(2003年)

薬剤名	希釈倍数	新梢当たり個体数					薬害
		5月28日 (散布前)	5月30日 (2日後)	6月4日 (7日後)	6月11日 (14日後)	6月18日 (21日後)	
粘着くん水和剤(2回散布)	500倍	15.2	0	2.4	0.6	5.0	-
アルバリン顆粒水溶剤	1,000倍	18.8	0	0	0.1	0.4	-
アドマイザー水和剤	1,000倍	5.8	0	0	0.9	0.8	-
無散布	-	7.0	20.7	47.3	62.8	39.0	

### III その他

#### 1 執筆者

荒川昭弘

#### 2 主な参考文献・資料

なし